

●本の森イベント案内

1月16日(日)

本の森ミニツアー&シアター

遠野小の全校表現活動『遠野の里の物語』の基となった「歌物語“遠野物語”」から一部抜粋してお届けします。

時間 10時~11時 定員 20人

参加費 100円※未就学児無料

演奏 歌/山本恵子氏、ピアノ/名須川明子氏

1月23日(日)

本の森 世界の旅インド編

インドの駐日大使館から寄贈された本と、インドの多様な民族衣装文化について紹介します。

時間 10時~11時 定員 15人

参加費 100円※未就学児無料

1月29日(土)

節分を楽しもう 豆まき会

鬼のお面作りや豆まきごっこ、本の読み聞かせを行います。

時間 10時~11時 参加費 無料

対象・定員 就学前親子、30人

1月30日(日)

いつも隣に本といぬ

犬の本のビブリオバトルや愛犬のためのワークショップ、フォトコンテストの結果発表を行います。

時間 10時~12時

対象・定員 小学生以上、15人(ビブリオバトルの発表者は5人)

参加費 500円

内容 ①いぬの本 ビブリオバトル②ワークショップ「アロマでぶにぶに肉球クリーム作り」(講師 Happy Heart 高田佳奈子氏)③本の森 いぬフォトコンテスト結果発表※コンテストの応募者を募集しています。詳しくはホームページを確認ください

共通

会場 こども本の森 遠野

申し込み・問い合わせ こども本の森 遠野(☎63-3003、メール kodomo-honnomori@city.tono.iwate.jp)

●本の森News

こども本の森 遠野

来場者1万人を達成



来場1万人目の後藤さん家族と祝福した多田市長(芽衣子さんは左写真の右から2番目)

11月28日、「こども本の森 遠野」は来場者1万人に到達。7月25日のオープンから約4カ月での達成となりました。1万人目は、山田町の後藤芽衣子さん(山田小4年)。読書が好きで、同施設へは3回目の来訪でした。芽衣子さんは「急に声を掛けられてびっくりしたけどうれしい。もっと利用者が増えてほしい」と喜び、期待を寄せました。

本の森と一緒に育てませんか

本の森が、子どもたちの心を耕す施設になるよう支援する「こども本の森 遠野を育てる会」の会員を募集しています。

活動内容 年4回程、本の森が、子どもたちの心を耕す施設になるための意見やアイデアを出し合います。意見や要望は、本の森の運営に役立ちます。

会費 無料。経費がかかる場合はその都度協議します。

加入方法 こども本の森 遠野にある加入申込書を記入の上、申し込みください。

運営資金の寄付を募集

本の森を将来にわたって運営するため、全国から寄付金を募集しています。詳しくは本の森ホームページをご覧ください。



本の森HP



1_こども本の森 遠野を訪れた安藤氏 2_安藤氏の講演を聞こうと約300人が集まりました 3_本の森を育てる会からメッセージカードと花束を贈呈 4_講演の前後に行われたサイン会の様子

11月20日、世界的建築家の安藤忠雄氏が「こども本の森 遠野」オープン以来初めて遠野を訪れました。安藤氏は同施設を視察後にあえりあ遠野で講演。当日の様子や講演会の内容を紹介します。

安藤忠雄氏来遠

クロージアップ遠野

こ

ども本の森 遠野(以下、本の森)を設計・建築し、本市に寄贈した世界的建築家・安藤忠雄氏が、11月20日に遠野を訪れました。新型コロナウイルス感染症の影響により、安藤氏の来遠が実現するのは7月に本の森がオープンして以来初めて。安藤氏は、完成した同施設や親子連れが読書を楽しむ様子などを視察した後、「生まれ変わる」と題して講演。市内外から約300人が講演会に参加しました。

講演の中で安藤氏は、1970年代と比べて今の日本は魅力が薄れていると指摘し、その理由を、子どもたちの元気がないからと分析。子どもにも活力を与える方法の一つとして読書を挙げ、スマートフォンでは学べない知識や体験、考える力の重要性を訴えました。また、健康寿命が延びている今、年を重ねても目標を持つことの大切さを強調。それぞれの人のとって面白いことを探し、豊かさを持たなければならぬと話しました。最後に安藤氏は「生まれ変わるためには、心の世界が大きくないといけない。いろいろな人が重なってきているこの地球の中の一員として頑張っていたきたい」と力を込めました。

講演後、こども本の森 遠野を育てる会から安藤氏へ、本の森を利用した子どもたちからのメッセージカードと花束が贈られました。

